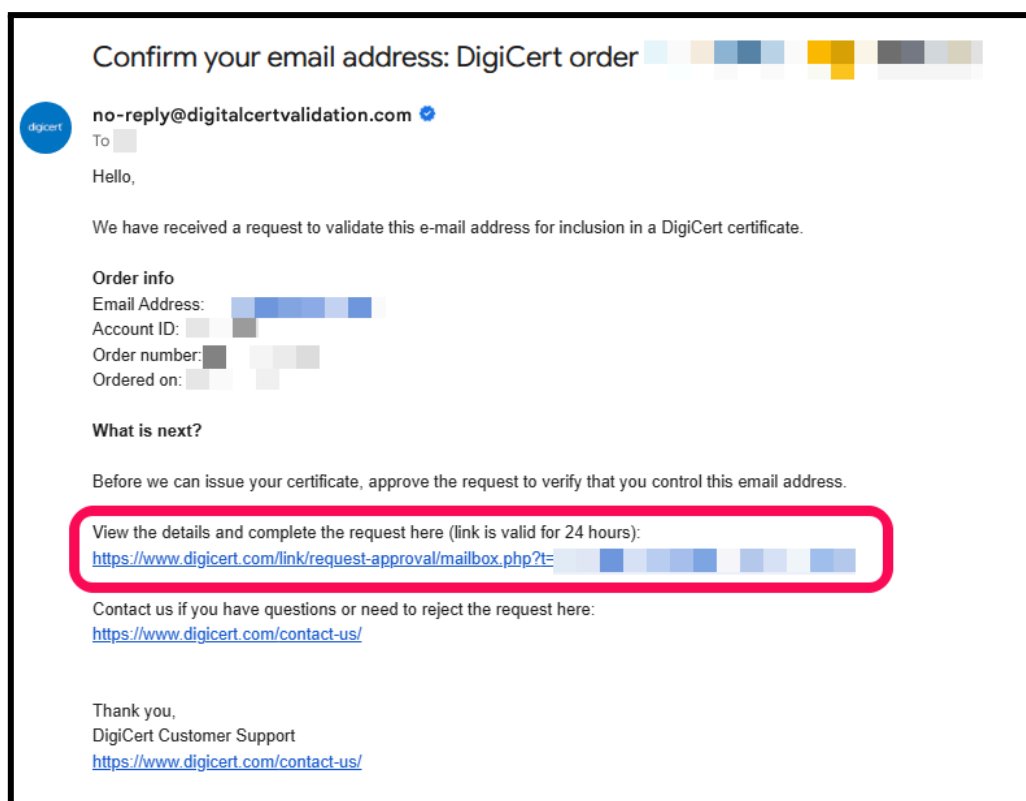


デジサート Secure Email for Individual Mailbox 証明書取得手順

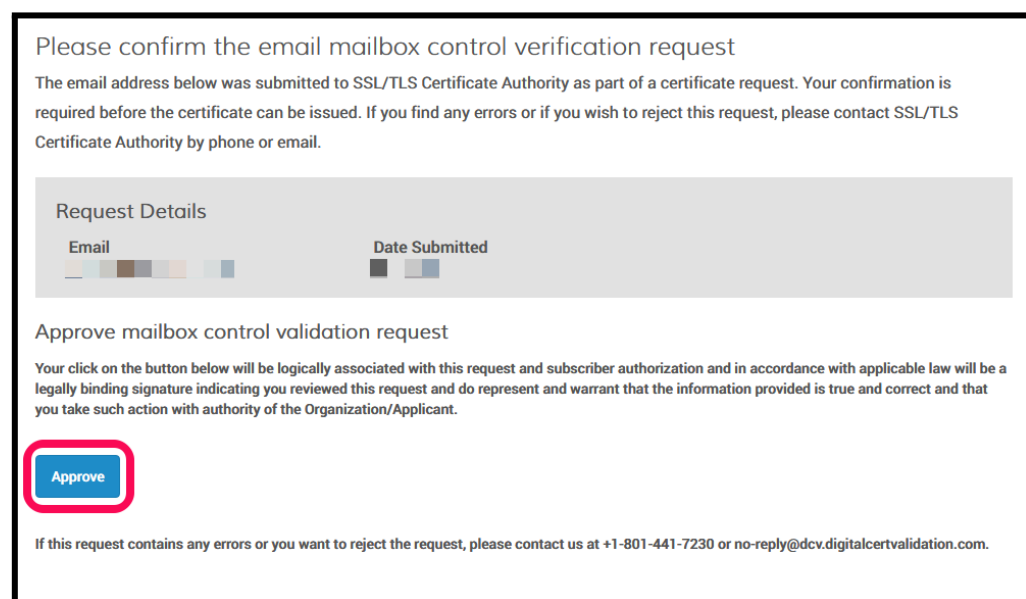
1. 最初に以下のようなメールがご利用になられるメールアドレスに届きます。



「View the details and complete the request here (link is valid for 24 hours):」の下のリンクをクリックして、表示される以下のサイトで「Approve」をクリックしてください。

※メール内のリンクは受信後24時間以内という期限がございますのでご注意ください。

24時間を経過した場合は、「リンクの有効期限が切れているか、注文が承認済みです」というメッセージが表示されます。その際は、販売サイトの[お問い合わせ]からご連絡いただけますでしょうか。認証メールを再送いたします。



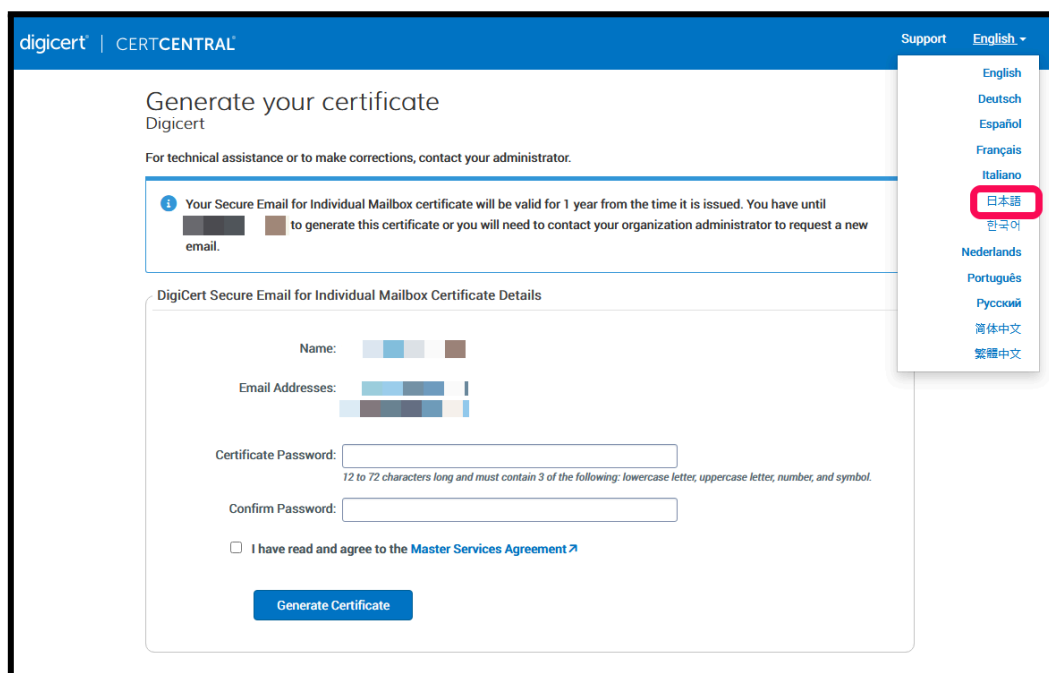
2. 次に以下のメールがご利用になられるメールアドレスに届きます。



3. メール内のリンクをクリックしてください。**Webブラウザ**が起動します。

初期画面は英語表示となっています。

右上のメニューから日本語に変更してもらうことが可能です。



画面の”名前”、”Eメールアドレス”に間違いがないかご確認ください。

例) 名前: お申込みいただいたメールアドレス
Eメールアドレス: お申込みいただいたメールアドレス
お申込みいただいたメールアドレス



digicert | CERTCENTRAL

サポート 日本語

証明書の生成

デジサート

技術的なサポートや修正については、管理者にご連絡ください。

① お持ちの Secure Email for Individual Mailbox 証明書の有効期限は発行日から 1年 です。この証明書を生成するか、組織管理者に連絡して新しい電子メールを要求する期限は、 までです。

デジサートの Secure Email for Individual Mailbox 証明書詳細

名前:

Eメールアドレス:

証明書パスワード:

12 ~ 72 文字で、小文字、大文字、数字、記号のうち3つを含むこと。

パスワードの確認:

☐ 次の文書を読み、内容に同意します [マスターサービス契約](#)

[証明書を生成する](#)

4. 「証明書パスワード」と「パスワードの確認」にパスワードを入力します。

このパスワードは任意の値をご入力いただけますが、証明書をクライアント環境にインストールする時に使用します。

パスワードを忘れると証明書をインストールできませんのでご注意ください。



digicert | CERTCENTRAL

サポート 日本語

証明書の生成

デジサート

技術的なサポートや修正については、管理者にご連絡ください。

① お持ちの Secure Email for Individual Mailbox 証明書の有効期限は発行日から 1年 です。この証明書を生成するか、組織管理者に連絡して新しい電子メールを要求する期限は、 までです。

デジサートの Secure Email for Individual Mailbox 証明書詳細

名前:

Eメールアドレス:

証明書パスワード:

12 ~ 72 文字で、小文字、大文字、数字、記号のうち3つを含むこと。

✓ パスワードが承認されました

パスワードの確認:

✓ パスワードが確認されました

☐ 次の文書を読み、内容に同意します [マスターサービス契約](#)

[証明書を生成する](#)

5. マスターサービス契約を確認し、「同意する」をチェックします。

「証明書を生成する(**Generate Certificate**)」を押下します。
完了画面に変わるまでそのままお待ちください。

digicert | CERTCENTRAL

サポート 日本語

証明書の生成

デジサート

技術的なサポートや修正については、管理者にご連絡ください。

① お持ちの Secure Email for Individual Mailbox 証明書の有効期限は発行日から 1 年 です。この証明書を生成するか、組織管理者に連絡して新しい電子メールを要求する期限は、[] までです。

デジサートの Secure Email for Individual Mailbox 証明書詳細

名前: []

Eメールアドレス: []

証明書パスワード: []
12 ~ 72 文字で、小文字、大文字、数字、記号のうち3つを含むこと。
✓ パスワードが承認されました

パスワードの確認: []
✓ パスワードが確認されました

☒ 次の文書を読み、内容に同意します マスターサービス契約

証明書を生成する

6. 証明書ファイルのダウンロードの完了

以下の画面に変わりましたら証明書ファイルの取得は完了です。

[お申込みいただいたメールアドレス.p12]というファイル名で証明書ファイルが
パソコンにダウンロードされたことをご確認ください。

※p12ファイルは pfxファイル(PKCS#12形式)です。

digicert | CERTCENTRAL

サポート 日本語

デジサート Secure Email for Individual Mailbox 証明書の発行...

デジサート Secure Email for Individual Mailbox 証明書が発行されました。今すぐダウンロードしてください。

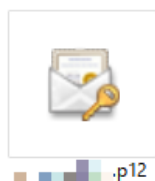
ダウンロードした P12 ファイルを、自分の証明書ストアやEメールクライアントにインストールします。
[詳細はこちら](#)

こちらの画面にならなくても、p12ファイルがダウンロードされていれば完了です。
ブラウザは閉じていただいて問題ありません。

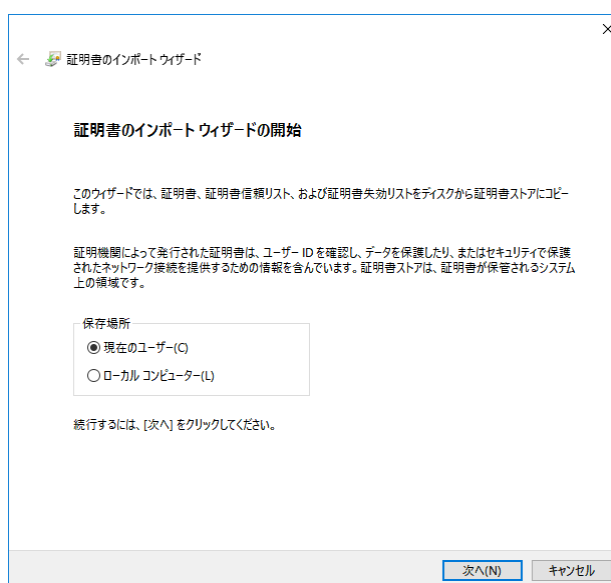
ダウンロードしたp12ファイルをクライアント環境にインストールする手順は次ページを
ご確認ください。

参考: p12ファイルのインポート手順

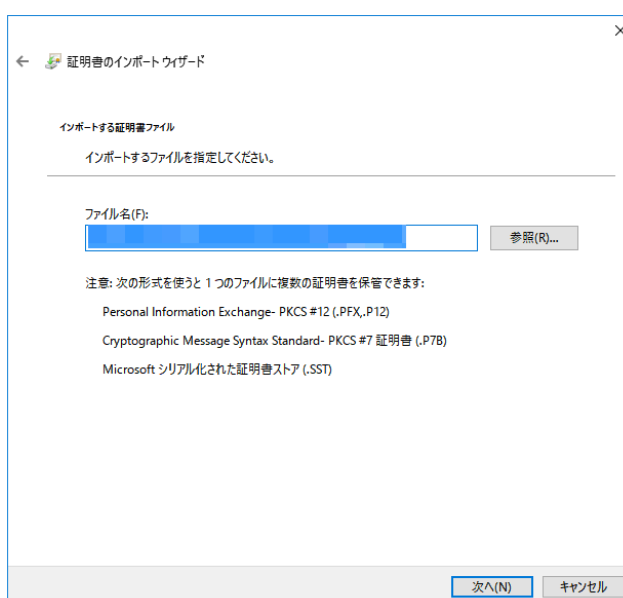
1. ダウンロードされたp12ファイルをダブルクリックします。



2. 起動した証明書インポートウィザードで「次へ」をクリックします。



3. インポートするファイル名を指定する画面で「次へ」をクリックします。



4. 証明書取得時に設定したパスワードを入力します。

「このキーをエクスポート可能にする」チェックを**ON**にして「次へ」をクリックします。

← 証明書のインポートウィザード

秘密キーの保護

セキュリティを維持するために、秘密キーはパスワードで保護されています。

秘密キーのパスワードを入力してください。

パスワード(P):

●●●●●●

☐ パスワードの表示(D)

インポートオプション(O):

☐ 秘密キーの保護を強力にする(E)
このオプションを有効にすると、秘密キーがアプリケーションで使われるたびに確認を求められます。

☒ このキーをエクスポート可能にする(M)
キーのバックアップやトランスポートを可能にします。

☒ すべての拡張プロパティを含める(A)

次へ(N) キャンセル

5. 「証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する」を選び、「次へ」をクリックします。

← 証明書のインポートウィザード

証明書ストア

証明書ストアは、証明書が保管されるシステム上の領域です。

Windows に証明書ストアを自動的に選択させるか、証明書の場所を指定することができます。

☒ 証明書の種類に基づいて、自動的に証明書ストアを選択する(U)

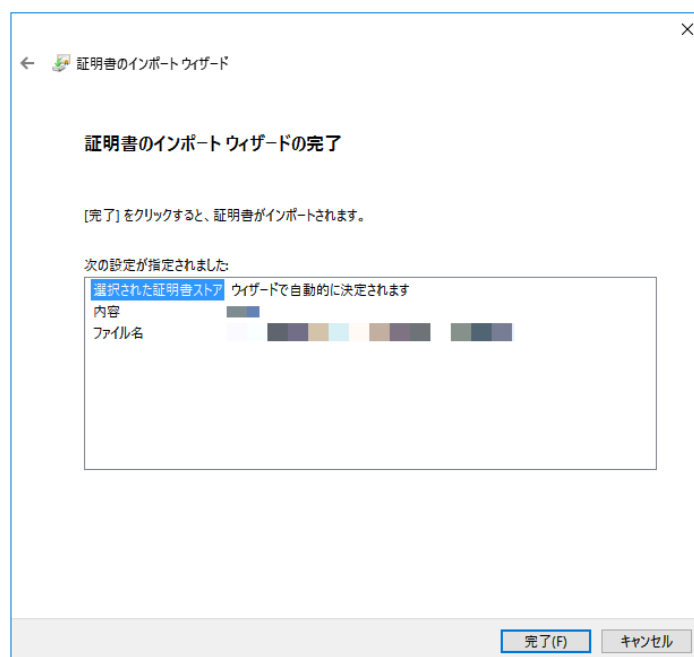
☐ 証明書をすべて次のストアに配置する(P)

証明書ストア:

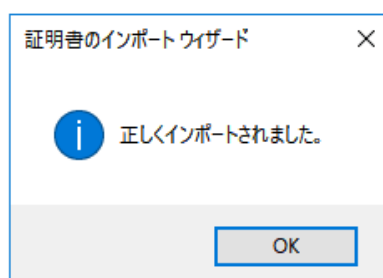
参照(R)...

次へ(N) キャンセル

6. 「証明書インポートウィザードの完了」画面が表示されますので、「次へ」をクリックします。



7. 「証明書インポートウィザード」画面が表示されますので、「OK」をクリックします。



クライアント環境への証明書ファイルのインポートは完了です。

メールソフトへの設定については以下のメーカーFAQサイトをご確認ください。

(参考) 一般的なメーラーで利用するための参考手順書(デジサート・ジャパンサイト)

<https://knowledge.digicert.com/ja/jp/solution/SO23911.html>